



和く輪く だより

第100号

2015年
最終号



by 井村「魂のやすらぎ」

和く輪く舎はみんなの心の中に

阿部秀雄

久しく続いていた相談室を閉じるということについてなんの感慨もないかと言えば嘘になります。でも、私はいつでも前を向いているので、何かが終わるという感覚はなく、新たな始まりだと思っているのです。若い（私より若いという意味ですが）スタッフは、それぞれ地元でご自身の活動を始めるので、言ってみれば和く輪く舎が無くなるのではなく、増えるようなものです。

もともと和く輪く舎は、抱っこ法という子育て・育て直しについての画期的に新しい（実は新しいどころか、古い子育ての英知を掘り起こしただけのことなのですが）を世の中に広めたいという願いから、日本抱っこ法協会やら癒しの子育てネットワークが始まったわけで

すから、和く輪く舎で育ったスタッフが各地に巣立っていく喜びを噛みしめているのです。

和く輪く舎を利用してくださっている方には申しわけなく思っています。でも、担当だったスタッフに連絡を取って頂ければ、直接お受けするなり、和く輪く舎以外のところで活動してきた仲間も含めて、誰か紹介できます。天心も続けられることになりましたし、抱っこサロンなども再開できそうです。

78歳の私とは言えば、これからは書くことをとおして抱っこ法という福音を世に広めることに専念したいと思っています。老兵は死なずです。



和く輪く舎を閉めるに当たって

阿部芳子

和く輪く舎が阿部の子育て相談の場として始まったのは、1985年で、千葉縣市原市の内房線五井駅前のウルマビル503号室でした。まだその頃は和く輪く舎という名前はつけられていなくて、健育会と言っていたと思います。私たちには息子が2人いるのですが、次男の健（たけし）産院から退院した次の日に高熱を出して病院に駆け込んだり、4か月頃からは乳児喘息で苦しんだりしていたので、健や子どもたちみんなが、健やかに育ってほしいという願いを込めて名付けられました。

この頃から紗由子さんは一緒でした。その何年か後に紗由子さんは、間純一郎さんと結婚して、住まいと純一郎さんの針治療の場を探していたので、ちょうど阿部が相談室を東京に考えていたときで、ウルマビル503号が、間ご夫妻の住まいと、純一郎さんの治療室となることになり、つい最近まで間家がここを使っていました。ありがたいご縁です。

阿部が活動を東京で始めたいと思ったのですが、最初から都心に部屋を借りてという財力が不安で、日暮里にお部屋を貸してくださる方がいて、仮住まいでのスタートになりました。その時に井村さんと出会い一緒に活動していました。私たちは千葉から通って、週に1日ご相談にのっていました。この頃に鷺尾さんとも出会い一緒に活動し始めました。

その後の1994年錦糸町駅北口のコーポアサノに阿部の子育て相談室を開いて、1996年には、南口のキングスビレッジ701号に引っ越しし、その頃に和く輪く舎という名前がついたと記憶しています。和く輪く舎の名前は、お友だちの黎さんが地元でわくわく広場というのをやっていて、そのわくわくをいただいて、人と人の和と輪という願いを込めて、命名されました。たぶんこの頃に秋山さんとも出会い、一緒に活動し始めたと思います。

現在の藤崎ビルには、1999年9月に引っ越し、今は8階のみですが、一時期7階と8階を借りていたときがあります。その頃前田さんと有村さんと奥山さんが活動に参加してくれました。そして森結美子さん、渡辺富士子さん、深谷昭子さんとも一時期一緒に活動して来ましたね。

こんなふうを書いて、その時々を思い浮かべると、その時々に出会った親子さんも

思い出しています。思い出すと力不足も多く、申し訳ない気持ちが大きくなりますが、その時その時の自分の精一杯でお付き合いさせていただいてきたので、どうぞお許してくださいね。

そして忘れてはならないのが、和く輪く舎の運営を支え応援してくださった、ご寄付してくださった方々です。ご寄付のおかげで、和く輪く舎を維持してこられました。ほんとにありがとうございました。

支えてくださった方々ありがとうございました。出会ったみなさんありがとう、スタッフのみなさんも今までありがとう。

今年、秀雄が8月の誕生日で78歳になり、芳子が12月に77歳になります。みなさんとの出会い、つながり、支え、応援のおかげで、ここまでやってこられました。ほんとにありがとうございました。

これからは若い世代にバトンを渡します。そして私たちは田舎に引っ込んで、自然の中で家庭菜園などをして、のんびりして楽しんで、まだまだ長生きしたいと思っています。家庭菜園で取れた野菜でおもてなしできるように頑張りますので、どうぞ家まで遊びに来てください。



夢に向かって、わりとしぶとい私たち

間紗由子

99号で和く輪く舎を閉じることをみなさんに連絡したら、たくさんの方々から寂しくなると言った話を頂きました。本当にありがたいです。先日のY君が次に会ったときも私のことを気づかせてくれました。「整理には時間がかかるので、いそがなくていいよ」の言葉が私の心の琴線に触れ、Y君の背中であくさん泣きました。そのせいか、今後のことをスタッフ同士で話していたとき、場所がなくなっても、まだやれることが見つかって、わくわくしている自分に気がきました。和く輪く舎のすべてが無くなってしまうと思っていたのに…。その時も「私たちって案外しぶといね」と言いながら、顔を見合わせて思わず、笑ってしまいました。私達の絆は不滅のようです。チャンスがあったら、力を合わせて何かしら、やっていけたらと思います。これからもよろしくお願いします。

和く輪く舎ありがとう

井村 禮子

和く輪く便り 100号で、和く輪く舎で阿部先生御夫妻にぶらさがり 学ぶチャンスを得てきたスタッフやみんな、みんながそれぞれの場で活動する時が来たようです。

この誌面をお借りして和く輪く舎を永く維持して下さった阿部先生御夫妻に、心より感謝申し上げ、今後も必要とされる限り、自らの場で活動していけたらと思っています。それは出会った数知れない子どもたちからもらった「人間ってステキだよ」というメッセージを伝えるために！

そして先日ノーベル賞を受賞された大村先生にお会いするたびに楽しく優しく人が《生きる》に常に感性を磨くことの大切さを教えて戴きました。子育ても、何をするにしても、皆それぞれに与えられている感性の豊かな働きが、元気で在れば必要な答えは、必ず見つけることができると思えるようになったからです。

大村先生の御祖母様の《人の役に立つことをしなさい》という教えは、私も大好きだった祖父から伝えられていたことを思いました。この先エネルギーが切れない限り素敵で可愛い次世代を担う大切な親子が、少しでも健康でステキな日常を送れるようにお手伝いができることを願っています。

この社会では、過剰な情報や不必要なマニアル溢れています。つい惑わせられてしまいます。一緒に出逢った人と支え合いながら学びあいながら、より《生きる》を豊かに「良かった」にできますように!(^_^)

先日息子に「お母さんは、人の出会いに恵まれているよね。大事だよ。人脈が広いのは」と言われ、新たに人という財産に恵まれていることを思いました。この事に感謝しながら少しでも役立つことを願って、気持ち良い生き方をみんなで完う 出来たらと願います。

今まで、出逢ったすべての人々に感謝しながら、自分らしい抱っこを極めながら！



ありがとうございました…。

秋山真澄

私と和く輪く舎のつながりは、もう20年も前のこと、ハンディのある大人の方のセッションを勉強させていただくために、錦糸町に伺ったのが最初でした。まだ和く輪く舎という名前もついていなかったように思います。今の和く輪く舎から、京葉道路をはさんで向かい側のビル、キングスビレッジの頃でした。

そしてほどなく、まだ抱っこ法と出会って間もなかった新米の私に、阿部先生と芳子先生は、恐れ多くも親子さんを担当させて下さるようになりました。今から思えば、どんな失敗をしても後は責任を持って引き受けてあげるから…という無言の大きな見守りの中に置いていただいていたのだと思います。その頃おいで下さった皆さまには、未熟者の私で、至らないことばかり…、本当に力不足で申し訳ありませんでしたと、心の中でいつもお詫び申し上げます。そんな私でしたのに、その頃お付き合いさせていただき、お子さんがもう成人された今でも、毎年近況報告をして下さる方がたくさんいらっしゃいます。

「あの時教えていただいたことが、今もずっと支えになっている」というようなお母様方からいただくお言葉で、私は自分自身が落ち込んだときに、どんなに元気をいただいていたことかと思っています。「お世話になりました」と、おっしゃって下さるのですが、実のところ、そのようなお母様方の存在に、私自身が反対に支えられてここまでくることができたのだなあとつくづく思っています。本当にありがとうございました。

スタッフの仲間とは、ベースのところでは、いつも同じ立ち位置にいるという揺るぎない

安心感や、何があっても何を言っても大丈夫という信頼関係の中で一緒に歩んでくれたこと、それはいつもあたたかい『つながり』でした。スタッフの仲間に入れていただき、一緒に歩んできた日々は、私の大きなかけがえのない財産になっています。

和く輪く舎に身を寄せながら、私が学ばせていただいたことは数限りなくたくさんあるのですが、一番大きなことは、阿部先生と芳子先生の生き方そのもの、『在り方』でした。抱っこ法協会の方でも、間さんが『在り方』ということを発信してくれるようになって以来、抱っこを学んできた私たちは、めざしてきたもの、そして一番大事なことが『在り方』だということに気づき、その『在り方』について研鑽しようとしている今日この頃ですが、私が、この20年の間に、いつも阿部先生と芳子先生から学ばせて頂いてきたもの、それこそが、「在り方」そのものでした。目の前の方に対してだけではなく、セールスでかかってきた電話の向こう側の見えない方に対しても、阿部先生と芳子先生はとても丁寧に大事にして向きあっておられました。常に人間軸にたったの言葉かけ、まなざし、寄り添い方、その全てが、優しさでした。そして、その優しさの中に、私自身もいつも包んでいただいていた20年の日々でした。なんと幸せで、贅沢な日々だったことでしょう。それにお応えすることもできず、いつまでも未熟なままの私ですが、私なりに精一杯学んできたことを糧に、まず、自分の声にも耳を傾け、自分自身にも優しくすることから、少しでも回りの人たちを優しい心で包み込んでいけるよう、歩んでいきたいと思っています。

和く輪く舎を通じて、出会わせていただいた全ての皆さま、本当にありがとうございました。そして、これからどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

和く輪く舎、ありがとう。さようなら」会を開きます。

12月23日（水祝） 11時から15時まで

* 詳しくは別紙をご覧ください。

和く輪く舎スピリットを

前田美智子

私が和く輪く舎に初めてお世話になったのは、娘がまだ幼い頃ですから、もう20年も前のことです。最初は阿部先生に、それから断乳のことで井村さんに娘を抱っこしてもらいました。

それから10年経ったある日、今度は研修生として和く輪く舎にお世話になり、上級者ホルダーをめざすことになりました。猪突猛進の私の首根っこをしっかり掴んでおかねばというありがたい配慮だったのだと思っています。めでたく上級者認定をいただいてから、今度はスタッフとして、相談に来られる皆さんの応援をする側になりました。一緒に天心を受けた仲間が「え？前田さん、今日からそっち？」とびっくりされていたのを今も思い出します。

未熟で未熟で、そんなまだまだまだ私の和く輪く舎のみんなが支えてくれました。そして、和く輪く舎に来てくださったみなさんに育ててもらいました。今まで、山あり谷ありしましたが、ずっとずっと、和く輪く舎は私の心の支えでした。だから、ありがとうしかないのです。

きつとここを訪ねてくださったみなさんにとっても同じだと思います。閉じることをお伝えしては、和く輪く舎がなくなる寂しさを一緒に感じて涙が出ました。

だからこそ、和く輪く舎でいただいたあったかいものを、少しでも伝え広げていかなくてはと思うのです。形はなくなっても、スピリットは体のどこかにちゃんと残っているはずですから。

種を運ぶタンポポの綿毛のように、それぞれの自分の場所に飛んで行き、そこで心の種を植えたいと思います。私の中に和く輪く舎スピリットの小さな炎を燃やし続けたいと思います。

長い間、ありがとうございました。

また、どこかでお逢いしましょう。

和く輪く舎は永遠に

有村恭子

私が和く輪く舎に出会ったのは、およそ20年前でした。抱っこ法を学んでいて、たまたま東京に住むことになり、お手伝いを始めたのが、スタッフとして関わるきっかけでした。そうこうしているうちに子供が生まれ、親としての自分も、和く輪く舎に支えてもらいました。本当にありがたい事でした。

和く輪く舎は、阿部先生と芳子さんを中心に、いつも和やかで優しい時間が流れる場所でしたが、来てくださった皆さんのお陰で、よりあたたかな場所になっていったと思っています。和く輪く舎と出会って下さった皆さん、どうもありがとうございました。私自身は、支援者としては、未熟な面がたくさんあったと思います。最後にこの場を借りて、お詫びします。

この数年、いろいろな事情で、皆と同じような動きが出来なくなりました。それが申し訳なくて、スタッフでいる事を心苦しいと思いましたが、それでも、和く輪く舎の皆は、こんな私と繋がろうとしてくれ、いつでも居ごこちの良さを私にくれました。こんなに愛のある場所を、私は他に知りません。

和く輪く舎という場はなくなることになりました。でも、私の中から和く輪く舎の存在が消え去る事は決してないでしょう。和く輪く舎から受け取った、「いるだけでいいんだよ」というメッセージを、私は私のできる範囲で、これからも誰かに伝えていこうと思っています。またどこかでお会いできたら嬉しいです。

支えていただきました

鷺尾真琴

私が和く輪く舎へ何うようになったのは20年近く前のことになります。

阿部先生ご夫妻の生き方や、社会運動とも思える子育ての援助の姿勢に、私にもできることがあればという感じで共にいさせていただきました。ところが実際にはなかなかお役にたつことはできませんでした。至らぬことが多かったと思いますが、阿部先生ご夫妻が何と言

わずに見守って下さったことが、とてもありがたかったです。

そして、来てくださるお母さん方にも、お子様方にも本当に助けいただきました。ありがとうございました。お子様方の行動は、甘えべたになっているだけ、お母さんがただただ大好きで、お母さん思いの素敵なお子さんばかりです。

そしてお母さん方もまた、お子さんを心から愛しています。

私も同じ母親として、悩み苦しんだ時期がありました。苦しい気持ちを抱えた娘達の話や、聞くとやはり苦しくなり、甘えさせ下手だった親としてのこれまでの反省や、これからどんなふうに共に歩めばいいのかと考えました。

そんなとき、来てくださり話して下さるお母さん方がいることが私の励みになりました。みなさん、かわいいわが子のために頑張ろうとしている姿、自分の持っているものすべてをお子さんのために…と思っている、愛に満ちたそれぞれのお母さん方にお会いして、「私もこの方々と共に！」という気持ちが湧いてきて、また元気になることが出来ました。

落ち込むときも多かったですが、でも和く輪く舎で親子さんが待っていて下さるということが、このお仕事をする気持ちの立て直しになりました。支えられていたのは私のほうでした。本当にありがとうございました。

私にとっては天心もまた大きな支えとなりました。元気の源は天心があるからという感じがしています。和く輪く舎のスタッフの平均年齢を引き上げていた私ですが、天心のおかげで、まだ元気です。みなさまのお役にたてることがあれば、お声をかけてください。どうぞよろしくお願いします。



みなさまからいただいたメッセージ

和く輪くだよりが届いて

A県 魔法使いさん

外出して帰ってきたら和く輪くだよりが届いていて、最初の方読みました、まだ実感のない私です。和く輪く舎のエレベーター好きだったけど、また違うの一緒に乗れたらいいね。

天心とか違う場所ですとのことだから、また会えるからいいです。

和く輪く舎のお別れ会、Uちゃんには、お別れ会だと言わないで行こうと思ってるよ。そういうのUちゃんすごく悲しむからね。私も。楽しいクリスマスイブ会だと思って行くね～。

そして、場所が変わったと、新しいところへ次にいくのがいいかなと思ってました。とりあえずさゆこさんのところが次の場所だと思っているね。つまりは人が和く輪く舎をつく

る空間であって、場所が人を作るのではないものね。

芳子さんが引っ越すところも駅から近くで、抱っこ部屋あるといいな

大切な和く輪く舎がなくなってしまうことを知って

静岡県 TSさん

大切な和く輪く舎がなくなってしまうことを知って、寂しい気持ちとともに懐かしい時間が思い出されました。

それから懐かしい和の輪の時の資料を手にとって見たりもしました。

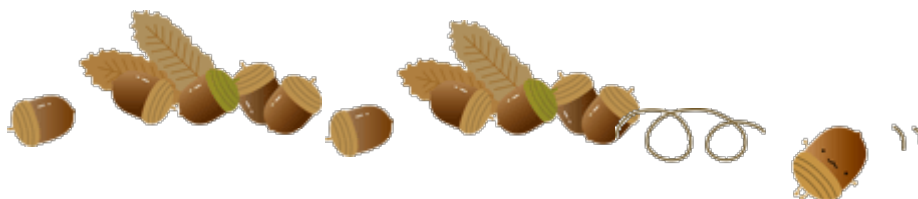
それでも動き出すことが出来なかったのだけれど、その後、今はとにかく後悔しないように会える人と場所に行きたいと思えてワークショップに申し込みをしました。

現実の中で何とかやり過ごして行こうとする自分が、深く感情に浸る時間を拒否していたのかもしれません。

この2日間は、いつも使っていない身体と思考と流れを使い、またいつもと違う人の流れの中に身を置く体験もしました。

2日間の体験がどんなふうに自分に染みしてくるのか、楽しみなような気持ちと、「そんなに自分に期待してもらっても・・・という気持ちがあります。

今日はお休みを取ったのでゆっくり寝坊してくつろいだ1人の時間を過ごしています。今は足の裏を感じながらいろんな気持ちをゆっくりと感じて見たいと思います。



大切な拠り所だった和く輪く舎

群馬県 MOさん

和く輪く舎を閉じます、との便りを開きました。

皆様の温かい関わりをいただき、社会とのつながりを持つ勇気を持つことができるようになりました。

私にとっては、大切な拠り所です。こうして支援された経験をもとに、援助者として一歩ずつ進んで来れたのも和く輪く舎の皆様ののおかげです。

改めてお礼を伝えたいと思い、慌てて一筆書いています。

芳子さんにはまだまだ！元気でいていただかないといけないので、和く輪く舎が閉じられた後にもまた、勉強に行かなくては、と思いを新たにしています。

芳子さん、いつもありがとうございます。これからもお便りしてもいいですか？

阿部先生へ

古谷 真素美

昨日 ”和く輪くだより” が届きました。

改めて和く輪く舎がなくなってしまうことを寂しく感じました。

しかし、阿部先生のお年は、私の両親の年と同じ頃。今でも現役で、多くの人たちのためにセッションやら研修会やらに飛び回っていらしたことが、私には驚くべき事です。今後は、先生ご自身と、奥様のお体を大切にしながら・・・あまり無理をされずに過ごして頂きたいと思いました。

間さんの文章を読んで初めて、奥様が昨年秋に、くも膜下で倒れたという、大きな事件があったと知りました。私はなにも知らず、自分の身の回りのことだけで精一杯だったことに、初めて気がつきました。阿部先生も、私たちと同じ、一人の人なんですよ。苦しいことも、悲しいことも、つらいことも、同じように越えてこられたのだと、今頃感じました。（今まで私は、なんとなく ”阿部先生は別の人” とでもいうように感じていて、それは、私が阿部先生に甘えていたのだと思います）。

阿部先生にも、そして芳子さんにも、元気で長生きして欲しい・・・そう思っています。たぶん先生ご自身の時間が、沢山の人たちの「なぜ?」「どうしたらいいの?」という苦しさ、つらさに応えるための勉強に費やされてきたのではないかと感じております。私の中にあった多くの苦しみも、抱っこと天心のおかげで、少しずつそのかたちを変えています。研修会から離れなければならなくなったことで、私にとって ”天心” がいかに大きな存在だったのかを感じながら、日々を過ごしています。

もっともっと天心を、そして抱っこを、学び続けていきたい・・・そう思っています。私が、今の阿部先生と同じ年になる時、ちゃんと成長できているのだろうか？ 不安な自分がいるのです。

でも、ひとつひとつ、ゆっくりですが、向き合っていくしかありません。

もっともっと自分らしく・・・遅ればせながら ”夢” に向かって歩いていきます。

今後とも、是非天心に復帰して、先生のお話を聞く機会に恵まれますように・・・よろしくお願いいたします。

季節の変わり目です。

どうぞお体ご自愛下さい。



お久しぶりです。

瞳さん

お久しぶりです。

お元気でしょうか？

今日、和く輪く舎に行って、芳子先生にハグして貰ったのですが、そこで和く輪くだよりを渡され、ショックを受けました。

発送のラベル貼りのお手伝いをしながら、間さんの文を読み、また泣きそうになり、そしてYくん、Tくんの文を読み、またまた泣きそうになり、帰って来て、Tさんと話をして再ショック、再度、文を読み、泣きそうになり、なかなか受け止め切れません。

なんて子どもたちの方が大人なんだろう、と思ってしまいました。

和く輪く舎が閉まってしまっても、間さんが五井でやってくれるよ。と教えてもらいました。

わくわく便りが、届きました。

千葉県 はるさん

こんにちは！お元気ですか？わくわく便りが、届きました。

東京展で、ちらりと錦糸町閉じるの話を聞いてたので、会報を手に取り、黙って、読みました…。

さゆさんの存在を感じながら…。ただただ読みました。みなさんが、心の奥底にいます。錦糸町のかわいいお部屋、お疲れさまでした。

今日は、曇空です。

夕方、大久保のあのカフェに家族で行きます。

さゆさんに会いたいな～と思います。

さゆさんは、そう、おもうかな？

今日は、曇空です。

ずーと空を見ていたいなあ～。

いつもいつも見てるけど。

今日は、曇空。風がきもちいい～。

さーゆさんっ！



私は…今、とにかく毎日生きることを大事にします。夢とか、遠くなってる感じなんだけど、とにかく…なんか、たべて、家族とすごして…うん。そんな毎日を。

また連絡しますね。

びっくりしました

広島県 福島隆子

こんにちは、ご無沙汰しております。和く輪くだよりありがとうございます。あらっと思
って、でもたまに送って下さるのかなと気楽に開いてみてびっくりしました。和く輪く舎を
閉じられることに、阿部先生の奥様の芳子さんがご病気になられたことに。昨年の10月と
あったので私がお世話になった昨年の11月23、24日は皆さんご心配のお気持ちをかか
えてだったのですね。回復されたとのことですのでほっとしました。RCを続けていても私
は天心が大好きでいつかまた行きたいと思いながら孫たちに振り回されてる毎日で、でも年
に1回でもいいから思い切って計画しないと後悔するかなと思いました。和く輪く舎がなく
なるのはとっても寂しい気持ちです。でもまたお会いできますよね。阿部先生、芳子さん
にお大事にとお伝えください。よろしくお願いします。

出会いの大切な場所

愛知県 森ひと美

昨日、和く輪く便りを読んで、びっくりしました。

私が抱っこ法や阿部先生、芳子先生、さゆちゃんに初めて出会った場所なので、和く輪く
舎がなくなるのはものすごく寂しいです。

でも、考えてみると仕方がないことですよね。和く輪く舎でたくさん学ばせてもらったの
で、それを地域で伝えていくことが、私の恩返しだなあと思います。



《《 天心いろいろへのお誘い 》》

天心——体験する人に優しく、援助する人に易しい癒し合い。苦しいからといって「プロ」
に頼るのではなく、言ってみれば、ひとむかし前の井戸端会議のような雰囲気自分を取り
戻す助け合い。互いに支え合って助け合っていくために、それぞれが自分の責任で向き合っ
ていくことが大前提となります。苦しさは早くなくなってほしいとつい思ってしまいますが、
その苦しい自分も、今まで自分を助けるために存在して、心のバランスをとるのに役立っ
てきたのです。自分自身の内面からの声を大切に、無理せず少しずつ取り組んでいきましょう。

なお、精神科の治療を受けている方は、医師の許可を得てから申し込んでくださいね。治
療を受けるほどに苦しい方にこそ力になりたいのですが、天心はあくまでも、やってもら
うのではなく、支え合ってやり合う互助ですから、無理なことは避けたいのです。また、妊婦
さんも大事をとってお受けしていませんのでご了承ください。

当日は、伸縮性のあるズボンなど、動きやすい服装でいらっしゃってください。

自分らしく生きる レッスン1、2、3 へのお誘い

昨年、新企画として誕生した「自分らしく生きるレッスン1、2、3」。好評につき今年度も開催いたします。

家族や周りの人への気づかいから、ついつい自分のことを後回しにしがちなあなた。気づけば本当の自分の感覚や望みがわからなくなってしまうことってありませんか。

「わたしはなにが好き?」「わたしはどう感じて?」「わたしはどうしたい?」「わたしらしさって?」。自分を知るのはたやすいようで、ひとりでは難しいものです。このワークショップで、自分と出逢う手がかりを見つけてみませんか。自分自身と仲良くなると、生きることが少し楽になりますよ。

このワークショップは、3回で1クールになっています。1回ごとに「心地よさ」「ぴったり感」「つながり感」をそれぞれテーマとしています。どの回から受講されても構いません。単発でのご参加も大丈夫ですが、3回全てに参加されることをお勧めします。

日程は、10月からのコースは終わりました。②11月23日(祝)、③平成28年1月11日(祝)。時間はいずれも10時~13時です。

参加費は1回ごとに5000円です。保育はありません。

【天心1日ワークショップのお誘い】

1日ワークショップは、日曜日にたっぷり時間をとった集中コースです。男女とも参加できます。初めて参加する方は初心者コースに必ず参加してください。そのあと経験者コースに進みます。時間はいずれも午前10時~午後4時まで。費用は7000円です。また、この時間はいずれも保育ができませんので、お子さんは預けてきてください。

和く輪く舎は12月で閉じることになりましたが、おかげさまで天心1日ワークショップは続けていくことになりました。来年1月からの会場は、錦糸町駅からバスで15分くらいで行ける江東区こども発達センターをお借りできることになり、会場はその場に移し(地図は別紙にて)、初心者コースは2ヶ月に1度毎奇数月、経験者コースは毎月、どちらも第3日曜日に行う予定です。

初心者のための天心 1日ワークショップ お誘い

天心が初めてという方のための1日ワークショップです。心と体のつながりや自分の中にある色々な気持ちに目を向けてみることなど、初歩的なワークを中心に行っています。ゆっくりとしたペースで進めていきますので、どうぞ安心してご参加ください。初心者のためのものですが、経験者

の方の参加也大歓迎です。

初心者向けには2ヶ月に1度、奇数月に開催しています。

当面の日程は、11月1日(日)、1月17日(日)、3月20日(日)、5月15日(日)。

経験者のための天心
1日ワークショップ
お誘い

初心者のための天心1日ワークショップに1度でも参加したことのある方は参加することができます。おとな心を立てて自分の癒しに取り組むことを、参加者同士で助け合う自助互助が、天心の極意。自分自身とのつき合うに長けていけるよう体験を重ねていきます。今年いっぱいには2ヶ月に1度偶

数月に、来年からは毎月開催します。

当面の日程は、12月6日(日)、1月17日(日)、2月21日(日)、3月20日(日)、4月17日(日)、5月15日(日)、6月19日(日)。

どちらのワークショップも、時間は午前10時～午後4時。費用は1回ごとに7000円です。

お申し込みは、今年いっぱいのワークショップは和く輪く舎へ。H. 28年2月からのワークショップは、前田までお願いします。

和く輪く舎

電話・FAX 03-5624-3229

メール wakuwakusya@gmail.com

前田

電話・FAX 046-272-1981

メール umimama333@gmail.com

天心のつどい

和く輪く舎が閉じることになりましたが、今まで参加して下さっていた方々のお声から、天心のつどいを続けていくことになりました。幸い、第一金曜日は千葉の五井駅の近くの、草の根鍼灸治療院を貸していただけることになりました。今までとは遠方になってしまう方、本当にごめんなさい。

参加条件はにこにこコースを終わった方や、天心1日ワークショップの経験が6回以上ある方、抱っこ法協会の天心集中講座に参加した方です。自主的に集まって体験を深めつつ研鑽していくための会です。自分に向き合うことを続けたい方もどうぞ。自分のやりたいことやその日のテーマを持ち寄って、自分が自分のリーダーとなって進めていきます。周りの仲間と天心の集いをやってみたい方、場をつくってリードしていく練習のためのご参加も大歓迎です。

天心のつどいでは、阿部の提唱する「井戸端会議の癒し合い」を目指しています。

鷲尾が部屋番としてお待ちしております。参加する時は事前に、鷲尾までご連絡ください。

当面の日程は、和く輪く舎では、11月6日(金)、12月4日(金)、28年1月8日(金)です。

2月からは**間の家**で、2月5日（金）、3月4日（金）、4月1日（金）、5月6日（金）、6月3日（金）。時間はいずれも10時～1時です。

参加費は部屋代として1回毎に1000円です。この時間も保育はありません。

鷺尾 電話：080-6805-4889
メール： makoto.ko.man@ezweb.ne.jp



間の家 千葉県市原市五井 1537-1

（地図は参加申し込みの際にお知らせします）

個別相談はこちらまで

今後の個別相談はそれぞれにご連絡ください。

場所は違いますが今まで同様、お話を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

連絡先

日本抱っこ法協会 本部 東京都調布市深大寺北町 7-32-17
石田 遊子 TEL / FAX (042) 485-7367

阿部 秀雄 メール：happyhug@nifty.com

秋山 真澄 東京都立川市 TEL / FAX (042) 535-2827
メール： natural_wreath@yahoo.co.jp

有村 恭子 東京都調布 メール： hhug_alley@yahoo.co.jp

井村 禮子 東京都杉並区 TEL / FAX (03) 3334-5371

間 紗由子 千葉県市原市五井 1537-1
TEL 090-4360-9421
メール： eyola-7566@docomo.ne.jp

前田 美智子 神奈川県大和市 TEL / FAX (046) 272-1981
メール： umimama333@gmail.com
前田ブログ http://dakkonote.cocolog-nifty.com
癒しの子育てネットワーク☆かながわブログ http://naocmi.blog2.fc2.com

鷺尾 真琴 千葉県富里市 TEL 080-6805-4889
メール： makoto.ko.man@ezweb.ne.jp



編集後記☆☆

和く輪く舎でお仕事をしていると、これからまもなく閉じることになるという実感がなく、永遠にあるもののように思ってしまう。

和く輪く舎の体験会やサロンの計画を話し合うのも、当日に息の合った本番を終えるのも楽しかった。新しいことを考え出すのが得意な間さん、理論的に考えて言葉にするのが上手な秋山さん、何でも絵にしてくれる前田さん、パソコンにはめっぽう強い有村さん。みんな素敵な仲間です。これからもずっとずっと…。ありがとうございました。

もっともっと和く輪く舎にいたいという未練心があります。でも実際にお部屋は無くなっても、心の中の和く輪く舎は永遠にあると感じています。

お目にかかれたたくさんの親子さん、阿部先生、芳子さん、スタッフのみなさん、感謝あるのみです。

最後にみなさまのご健康とお幸せを心から願って、和く輪くだより100号をお送りさせていただきます。ありがとうございました。(鷺尾真琴)



和く輪く舎

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-29-11 藤崎ビル8階

電話・FAX (03) 5624-3229

携帯の方はコチラから



和く輪く舎ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/wakuwakusya>

和く輪く舎ブログ「わくわくブログ」

<http://wakuwakusya.cocolog-nifty.com/blog/>

【支援者】 阿部秀雄 阿部芳子 井村禮子 鷺尾真琴 秋山眞澄
間紗由子 有村恭子 前田美智子 奥山信爾

＜当面の予定一覧表＞

(((11月)))

4日(水)	10時～12時	抱っこサロン赤ちゃん組	(親子) 定員8組
6日(金)	10時～13時	天心のつどい	(男女)
11日(水)	19時～21時	天心の夕べ	(男女) 定員8名
12日(木)	10時～13時	天心わくわくコース②	(女性) 10月の続き
23日(月祝)	10時～13時	自分らしく②	(女性) 定員8名
26日(木)	10時～13時	天心にこにこコース②	(女性) 10月の続き

(((12月)))

2日(水)	10時～12時	抱っこサロン幼児組	(親子) 定員8組
4日(金)	10時～13時	天心のつどい	(男女)
6日(日)	10時～16時	天心経験者1日ワークショップ	(男女) 定員12名
9日(水)	19時～21時	天心の夕べ	(男女) 定員8名
10日(木)	10時～13時	天心わくわくコース③	(女性) 11月の続き
17日(木)	10時～13時	天心にこにこコース③	(女性) 11月の続き
23日(水祝)	11時～14時	ありがとう、さよなら会	どなたでもどうぞ

(((H28 1月)))

8日(金)	10時～13時	天心のつどい	(男女)
11日(月祝)	10時～13時	自分らしく③	(女性) 定員8名
17日(日)	10時～16時	天心初心者1日ワークショップ	(男女) 定員10名
17日(日)	10時～16時	天心経験者1日ワークショップ	(男女) 定員10名

(((2月)))

* 5日(金)	10時～13時	天心のつどい	(於：市原市五井・間の家)
* 21日(日)	10時～16時	天心経験者1日ワークショップ	(男女) 定員12名 (於：江東区こども発達センター)

(((3月)))

* 4日(金)	10時～13時	天心のつどい	(男女)
* 20日(日)	10時～16時	天心初心者1日ワークショップ	(男女) 定員10名
* 20日(日)	10時～16時	天心経験者1日ワークショップ	(男女) 定員10名

(((4月)))

* 1日(金)	10時～13時	天心のつどい	(男女)
* 17日(日)	10時～16時	天心経験者1日ワークショップ	(男女) 定員12名

2月5日(金)以降、会場が変わりますので、ご注意ください。

天心初心者・経験者1日ワークショップ (於：江東区こども発達センター)

天心のつどい (於：市原市五井・間の家)